

重点施策 9 地域ぐるみで取り組む青少年補導の充実強化

【施策方針】

情報化・国際化・少子化・家庭教育の弱体化等、激動する社会の変化に伴い、人と人との連帯意識の希薄化・コミュニケーション不足、価値観の多様化により、子供たちを取り巻く環境は年々深刻化している。

こうした状況のもと、次世代を担う青少年の健全育成を推進するため、明るい対話のある家庭づくりと、楽しい魅力ある学校づくりを推進し、青少年をめぐる環境点検と有害環境の浄化、(特にネット犯罪防止)に努めると共に、青少年センターが中心になり、学校・警察・関係団体と情報交換を緊密にして、補導活動を行う。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 急増するネット犯罪への研修を深め、補導活動・相談活動の充実に努める
- ② 環境浄化活動・防犯相談所活動の充実に努める

(2) 施策・事業の実施状況

① 補導活動・相談活動の充実

社会の変化に対応し携帯電話やパソコンのネット犯罪、カラオケ、ゲームセンター、喫煙、薬物乱用等に留意し実態把握に努めると共に、不安定な心理の青少年に「愛の声かけ」を中心に、適切な助言アドバイスを行いながら支援・援助活動を行った。

市内13小学校区に13支部を擁する補導員会では、205名の会員が地区補導・中央補導・特別補導など、159回の補導活動に延べ833人の補導員が参加した。

また、青少年や保護者による悩み事の相談が数件あり、学校等とも連携し適切な対応を心がけると共に、必要な助言や指導援助を行い問題解決にあたった。

② 環境浄化活動・防犯相談諸活動の充実

青少年のためのより良い環境づくり、地域ぐるみの点検、実態調査などの活動を促し、不良・有害環境の整備、浄化を図った。

学警連と防犯協会等が連携し、市内全域に21の防犯相談所を設置し、悩みをかかえる子どもたちの発見と支援に取り組む相談活動を展開している。青少年センターは、来所または電話による相談に応じると共に、不審者情報があるときには、保護者等に向け、注意を呼びかけるメール配信を行っている。(メール配信サービスの維持費は青少年センター負担、情報入力はPTAによる。)

【学識経験者意見】

○ 八幡浜市は、県下の他市町と比べて青少年の問題行動が少なく、子ども達の生活態度が安定しているように感じる。これは、まずは学校が落ち着いているからであろう。一人ひとりを大切にする学校運営により、学校に居場所があり、心地よさを感じているからだろう。

さらに、そんな温かい街の雰囲気を支えているのが、「愛の声かけ」を中心に適切な助言・アドバイスを行いながら支援・援助活動をしていただいている、青少年センターを拠点とした市補導員会の熱心な活動がある。

補導員の皆さんには、今まで通りの活動をお願いするとともに、携帯電話やネットによる犯罪にも目を向け、これによる犯罪防止にも励んでいただきたい。

○ 青少年の健全育成のため、補導員会・防犯協会・警察等が良好に連携しながら、今後とも補導や相談等の活動が実施され、子どもたちを取り巻く環境を浄化して、より良い環境作りのための取組をお願いしたい。

【自己評価】

□ 市内の子どもたちが落ち着いている要因の一つが、青少年センターを拠点とした市補導員の熱心な活動にあると評価していただき大変うれしく思っている。その補導員会は、補導員自身の資質の向上を目指し、毎年「補導員研修会」を実施している。今年度は、市町少年補導員ブロック別（南予地区）研修《八幡浜大会》と兼ねて実施し大変有意義な研修となった。また、三つの分科会を設置し討議を行ったことで参加者から様々な意見が出され、今後の活動に生かせる研修会となった。

□ 「青少年センター」の活動の一つに相談活動がある。その相談実績はほんの数件でまだまだ相談場所としての認知がされていないように思えるため、機会をとらえ広めていくことが必要と考えている。また、職員の被相談者としての技能の向上も求められていることから、子どもたちや保護者の悩みの解決に役立つよう自己研修に励みたいと考えている。